館山市における森林環境譲与税の使途（令和７年度決算）

事業名	事業総額（単位：千円）				当年度基金への積立額（単位：千円）	事業内容等	実績並びに税導入の効果
		うち森林環境譲与税	うち基金取崩額	うち他の財源			
森林クラウド年間利用料	88	88	0	0	―	県・市町村及び林業事業体が保有する森林関係情報を集約し、リアルタイムでの情報活用を図るため、千葉県が運営する「千葉県森林クラウドシステム」を利用する。	森林クラウドにより、森林関係情報をリアルタイムで活用することができた。
千葉県森林経営管理協議会負担金	28	28	0	0	―	県内の会員市町村で組織される「千葉県森林経営管理協議会」に参加し、協議会が行う市の実情に合わせた森林環境譲与税の使途の検討等の相談対応、情報共有などを行う。	協議会への参加により、業務の省力化及び効率化が図られた。
森林環境整備事業補助金	1,062	452	0	610	―	森林の有する多面的機能の持続的な発揮、林業の持続的かつ健全な発展を図るため、市内民有林における森林病害虫・風倒被害木の伐倒・除去にかかる費用の一部を補助する。 補助額は事業費の1/2以内（限度額200,000円）	危険木等の撤去　３件
館山小学校整備費	44,661	9,501	28,049	7,111	―	小学校統合改修工事に伴い、国内産の木材を活用したロッカーや掃除用具入等を設置する。	館山小学校内備品（シューズボックス等） 木材（国産材）使用量　22.0㎥
合計	45,839	10,069	28,049	7,721	0	―	―

木材利用・普及啓発

千葉県　館山市（公共施設における木材利用（館山小学校の設置備品）

- 館山市では、「館山市の公共建築物等における木材利用促進方針」に基づき、森林環境譲与税を活用しながら、公共建築物における国産材の利用に努め、木材利用の促進を図っていく方針である。
- 館山小学校の改修工事に際し、設置備品に国産材を活用した。

□　事業内容

公共施設における木材利用

- 館山市では、令和7年度から令和8年度にかけ、館山小学校の大規模改修工事を実施し、その一環として備品を新調した。

【事　業　費】44,661千円（うち譲与税37,550千円）
（譲与税は、国産材に係る材料費の一部に充当）
【実　　績】館山小学校内備品（シューズボックス等）
木材使用量　22.0㎥




（昇降口：シューズボックス）




（教室:クラスルームロッカー）

□　取組の背景

・令和9年４月から館山小学校、西岬小学校、豊房小学校を統合するために現館山小学校校舎の改修工事を行うこととなり、その際に設置備品を新調することになった。

□　工夫・留意した点

・健康への影響に配慮して、ホルムアルデヒドの放散量が極めて少ないF☆☆☆☆タイプの材料を使用した。

□　取組の効果

・木製備品等が身近に感じられる環境にいることで、若い世代の木への関心に繋がることが期待できる。

・「館山市の公共建築物等における木材利用促進方針」に基づく、木材利用の取組促進が継続的に行われる。

◇　基礎データ

①令和7年度譲与額：10,069千円	②私有林人工林面積（※１）：720ha	
③林野率（※１）：43.4%	④人口（※２）：45,153人	⑤林業就業者数（※２）：7人

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より